

夢のつばさプロジェクト

講演会「夢のつばさ♥プロジェクト ～ 東日本大震災復興支援」

【日時】2012年3月17日 14:00～15:30

【場所】お茶の水女子大学本館 103

お茶の水女子大学附属中学校の同窓会「鏡影会」主催の講演会で、室伏きみ子氏（お茶の水女子大学大学院教授、お茶の水学術事業会理事）が「夢のつばさプロジェクト」設立の経緯やこれまでの活動、今後の予定などについて解説し、支援を呼びかけました。

2011年3月11日に発生した東日本大震災では、被災3県（宮城・岩手・福島）で1533名の子どもたちが親を失ったと言われています（2012年2月末現在）。将来、こうした子どもたちが、自分の夢をあきらめなくてはならないという状況が出てくるのではないかと考えたとき、私たちは「あきらめてほしくない」と強く思いました。そして、子どもたちが成人するまで見守り、子どもたちに「あなたは一人じゃない。何かのときには私たちが力になるから」と伝えていこうと考えたのです。

私たちの呼びかけに、さまざまな団体、たくさんの方が協力を申し出てくださり、2011年4月に「夢のつばさプロジェクト」を立ち上げることができました。

このプロジェクトが目指していることの1つは、子どもたち自身に将来の夢を実現するような力、すなわち本当に生きる力を身に付けてもらうということです。キャンプ活動を通して仲間を作り、自ら色々なことを学び、将来的には子どもたち自身が活動主体として、自分たちよりも小さな子どもたちや、今回の震災に限らずさまざまな状況で辛い立場にある子どもたちを助けていける組織作りができるよう、お手伝いをしたいと考えています。こうしたことが、ひいては現在の保護者のお気持ちを少し楽にしてさしあげることもつながるのではないかと思います。

また、この活動ではボランティアの学生が子ども達と直接関わっています。現在、お茶大だけではなく他大学からも総勢60名ほどが登録してくれていますが、実際にやってみますと、子どもたちとの関わりを通して、学生たちも大きく成長するのです。今後、このことが、私たちのプロジェクトのもう1つの柱になるのではないかと考えています。

2012年度は、昨年度と同様に夏のキャンプと冬のクリスマスキャンプを実施するよう準備を進めています。さらに、交通事情によりこちらに来るのが難しい釜石市・大槌町の小学生～高校生を対象としたキャンプを5月に行います。現地の青年会議所との共催で宇宙航空研究開発機構（JAXA）の川口淳一郎

さんの講演会と映画「はやぶさ」の上映会を行ったり、産業技術総合開発機構（NEDO）にご協力いただいてソーラーカーの模型作りをしたりする予定です。（2012年5月19日・20日に実施）

また、これから子どもたちは進学や就職など、様々な問題を抱えるようになりますので、子どもたちと保護者の方たちからの相談を受け付ける窓口も作っていきたく考えています。

さらに、私たちが月に1度開催している「サイエンスカフェ」で、東日本大震災と原発事故の実態や適切に行動するための指針をテーマとして、日本を代表する研究者たちに話題提供をしていただきました。その内容を『サイエンスカフェによる！科学と社会が会う場所—地震・津波・原発事故・放射線』（富山房、1,890円）という冊子にまとめ、この3月11日



に発行しました。そして100冊分が「夢のつばさプロジェクト」に寄附されました。

東日本大震災の後、様々な支援プロジェクトが立ち上げられましたが、その多くは1～2年の短期的なもので、「夢のつばさプロジェクト」のように長期的な支援を行っていこうとするものはほとんどないということです。私たちは子どもたちを末永く見守っていきたくて活動しておりますので、皆さまから温かいご支援をいただきましたら幸いです。

※ご講演内容の一部を抜粋して紹介しました。「夢のつばさプロジェクト」の詳しい内容や活動報告については、HPをご覧ください。

(<http://www.npo-ochanomizu.org/tsubasa/index.html>)

協力：お茶の水女子大学附属中学校同窓会「鏡影会」

ご寄付のお願い

皆さまのご理解と温かいご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。
個人1口：5千円 法人1口：10万円
なお、ご寄付頂けます際には、ご芳名、ご住所（連絡先）を下記までお知らせくださいませ。
<連絡先> 事務担当 滝澤公子 TEL & FAX：03-5978-5362
Email：tsubasa@npo-ochanomizu.org
<振込先> 三井住友銀行大塚支店（店番号227）普通1284200
名称：特定非営利活動法人お茶の水学術事業会理事長 平野由紀子